

鶴見区西部

地域高齢者に対する医療
や介護の相談窓口です

地域包括支援センター



せいぶ耳寄り情報 Vol.76

■みんなで考えよう高齢者虐待

高齢者虐待は無意識に行っていることがあります

介護している中で、高齢者のためを思っている行為が、**介護者の疲れやストレス**により虐待になることがあります。そのため、介護者や高齢者に**虐待の自覚がない**場合があります。以下のようなことはありませんか？



- 言うことを聞かないので、無視する、ののしる。
- 「しないと、できなくなるから」と過度なりハビリをさせている。
- 同じことを何度も聞いてくるので「何度も言ったでしょう。」などそっけない返答をする。
- 「なぜできないの?」「いい加減にして!」など本人が委縮するような言葉をぶつける。
- 無駄遣いをするので、ご本人のお金を使えないようにしている。
- お金がかかるからと、通院させていない。介護サービスを利用させていない。
- 言うことを聞いてもらうため、叩いたりつねったりしてしまう。
- 介護が大変なので、放ったままにしている。

ひとりで抱え込んでいませんか

上のチェックで一つでも当てはまった方は、区役所や、地域包括支援センターにご連絡ください。地域包括支援センターに来られない方は、自宅に伺って話を聞かせていただきます。



ひとりで抱え込まず、まずご相談ください。

裏面へつづく→

高齢者虐待が起きる理由

家庭内で高齢者虐待が発生する要因として、

①虐待者の「性格や人格(に基づく言動)」…57.9%

②被虐待者の「認知症の症状」…52.9%

③虐待者の「介護疲れ・介護ストレス」…50.0%



以上の3つが上位に挙げられています。*1

長引く介護や、介護の仕方がわからず心身が疲れる。また、経済事情や、人間関係、「自分がしなくては」と一人で抱え込み、自分のための時間がとれなくなる。など、さまざまな問題が絡み合い、介護疲れやストレスになっていきます。

※1.令和2年度「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果(添付資料)より

近所にこのような高齢者はいませんか

高齢者虐待は誰の身にも起こりうる問題です。
また、早期に発見すること、介護者への支援が必要です。

「あれっ?」「おかしい」「ちょっと心配」という気づきがとても大切です。

不自然なあざややけどのあとが見られる

何かに怯えている様子がみられる

衣類が破れたり、汚れていて異臭がする

体重が不自然に減っている

必要な医療や介護保険サービスを受けてなさそう

家から悲鳴や泣き声がよく聞こえたり、家族からの怒鳴り声が聞こえる

主治医や保健、福祉の担当者に話すことや援助を受けることに躊躇する



虐待を防ぐために、身近な高齢者や介護をしている家族に気を配り、挨拶をしたり、日頃から声かけをして、高齢者とその家族を孤立させないよう地域全体で支えましょう。

「虐待かな?」と思ったら迷わずご相談ください。通報者の秘密は必ず守ります。

相談窓口

鶴見区役所(保健福祉課 高齢者支援) …06-6915-9859

鶴見区西部地域包括支援センター …06-6913-7878



鶴見区西部地域包括支援センター

06-6913-7878